



ばく通信 NO. 3



2011.10.1 発達障害児応援団 NPO ばく

秋の風がこちよ季節となりましたが、皆様お元気でお過ごしでしょうか。

今年は、3.11の東日本大震災から始まり、先日の台風等、災害が相次ぎ、私たちも「生きていること」の意味や、お互いの「絆」について考えることが多くありました。

お陰様で「ばく」の活動は4年目を迎え、指導児童も40名、定員いっぱい、スタッフ一同頑張っております。

なお、皆様から頂いた賛助会費で、本年度は教材を充実させ、指導に役立てることができました。皆様の温かいご支援、本当に感謝します。

既に継続の手続きをいただいている方もございますが、今後も「ばく」の活動に一層のご支援ご協力を賜りますよう、賛助会員の継続をお願い申し上げます。

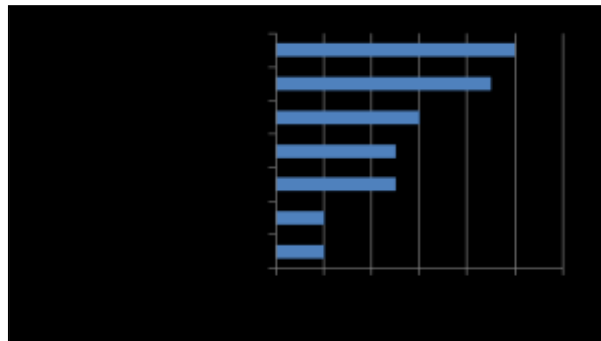
活動報告

1. <保護者のアンケートの分析より>

NPOでの学習支援について、保護者に毎年アンケート調査を行っています。その一部をご紹介します。

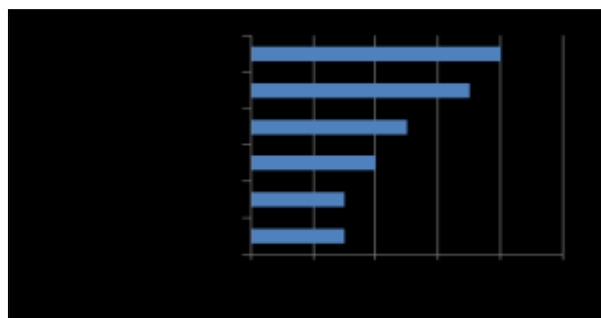
(1) 学習面について

漢字や作文、計算等できることが増えたとの記述が最も多く10名、テストや苦手な勉強に意欲的に取り組む等の学習意欲に関する記述が9名、机に向かって学習する等学習態度の改善に関する記述が6名、集中時間が増えるや集中力がつくが5名、「わからないから教えて」や何がわからないかを言えるようになった等の記述が5名でした。



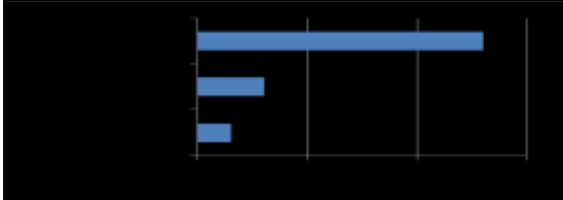
(2) 行動面の変化

おどおどするやイライラの減少等の情緒の安定に関する記述が8名、家や学校での動作や行動がスムーズになったが7名、がまんするや落ち着いて行動する等の行動のコントロールに関する記述が5名でした。



(3) 保護者の変化

ずっと不安だったがすぐに相談できるので気持ちに余裕がでた、すぐに相談できるので悩みを抱えずイライラすることが減った等の安心や気持ちの余裕に関する記述が最も多く 26 名、子どもへの接し方や前向きな子育てができた等の関り方の改善に関する記述が 6 名、子どもの特徴の理解が 2 名ありました。



2. 研究発表

(1) 平成 23 年 7 月 16 日 S.E.N.S (特別支援教育士) 静岡支部研修会
(グランシップ),

①発達障害を持つ子への学習支援—「聞く」ことの指導を通して—

渡邊静代・今泉依子

②漢字を書くのが苦手な子の指導

浜部和子

③学習支援の効果

～保護者のアンケートの

分析を通して～

今泉依子・渡邊静代



(2) 平成 23 年 9 月 19 日

日本LD学会第 20 回大会 (跡見学園女子大)

①「聞く・話す」ことへのアプローチ

渡邊静代 海野智子 郷式薫 入江千里

②漢字を書くのが苦手な子の指導～認知特性に応じた指導法の工夫

浜部和子 渡邊静代・

③発達障害児の学習支援の効果 ～保護者のアンケートの分析から～

今泉依子・渡邊静代

(3) 臨床発達心理実践研究 2011 第 6 巻に研究論文が掲載されました。

「話を聞くことが苦手なアスペルガー症候群の児童へのメモを取るための指導による支援」

渡邊静代・今泉依子・郷式徹 (静岡大学)